

学 校 だ よ り

学校教育目標 ○仲良く力を合わせる子 ○明るく元気な子 ○進んで学習する子
小鹿野町立小鹿野小学校 第3号 平成30年6月1日発行

小鹿野小学校長 矢 畷 泰

秩父の山々が萌葱色（もえぎいろ）でなく緑が濃く、力強く見える時期となりました。今年は、季節が進むのが少し足早のような気がいたします。5月の時季外れの暑さを考えると夏はどうなるのか、今から心配をしています。子どもたちも、1つ学年が進んだ萌葱色から濃いしっかりとした緑色に成長が進んできた頃と感じています。

中でも、小鹿野町の取り組みとして始まった「自学ノート」が順調に進んでいます。5月23日現在で、学校全体でのべ約60冊が修了しました。修了した子どもたちが終わったノートを持って喜んで校長室に見せに来てくれます。子どもたちが頑張ってくれていると実感できる、とてもうれしい瞬間です。頑張っている中で、さらに充実させていくため、次のような事柄をご家庭の皆様からもアドバイスいただきたいと思えます。

・頑張っている子とのんびりな子の学習に対する気持ちの差が出てきているように思います。まずは、「自分から進んで行おうとする気持ち」「やりきる気持ち」「やりきった達成感」を育てていくことが大きなねらいです。励ましをお願いします。

・学年が上がるにつれ、内容の充実も図れるよう学校でもアドバイスを行っていきます。内容の高まりが見られた時には大きな「認め」をお願いします。

・計算や漢字の練習を行った時には、自分で正しいかどうか確かめ・丸付けをする習慣がつくよう見守りをお願いします。

今後も、多くの子どもたちがノートを持ってきてくれるのを楽しみにしています。

＝心をつくる＝

おはようございます。

5月の朝会は「人権月間」にちなんで、次のような話を行いました。

毎年、5月は朝会でみなさんに「人権」についてお話をすることになっています。

「人権」という言葉はむずかしいですね。わかりやすい言葉に直すと「世界中、すべての人が人間としての命が大切にされ、幸せになるための権利」となります。

たとえば、いじめや差別をしたら、いやな思いをする人が必ずいます。だから、みなさんは、「まわりの人に思いやりの気持ちをもって生活しよう。」としているのだと思います。このことが、「人権」を大切にすることなのです。

今から7年前、1年生は、まだ生まれていませんが、東日本大震災という大きな地震がおこり、福島県にある原子力発電所で事故がおきました。放射能の影響で近くに住んでいた多くの人々が引っ越しをしなくてはならなくなりました。今までずっと住んでいた所や家を離れなければならなくなったのです。これだけでも、とても悲しいことです。

横浜に引っ越しをしたある子どもが、転校した学校で、まったく何もないのに「ばい菌」と呼ばれたり、お金を持ってこいと命令されたり、死ぬほど苦しい思いをしました。「人権」を守るどころではなく、これは警察につかまるような「犯罪」です。この子は、「とてもいやな思いをして死のうと思ったけど、地震や津波で多くの友だちが死んでしまったので、ぼくは生きるときめた。」と頑張ったそうです。

他にもこんな出来事が世の中ではありました。東京に住んでいるある小学生には体に障害のある弟がいます。ある日、弟と一緒にバスに乗りました。障害のためにバスの中で静かにしていられない弟を見て、バスに乗っていた他の人から「障害のあるやつはバスに乗るな。」と言われたそうです。みなさんは、どう思いますか。

さて、みなさんが生活する小鹿野小学校では、**似たようなことはないでしょうか。**

「おまえは、うざいから近くに来るな。」「おまえは、サッカーへただから、仲間に入れないよ。」

「頭くるな、おまえなんか死んじゃえ。」

これらは言葉はちがっても、「人権」を大切にしていない言葉、おこないなのです。校長先生は、このような言葉が聞こえない、おこないが見られない小鹿野小学校にしていきたいと思っています。**教室で担任の先生と話し合ってください。**

さて、今年度から、学校では「道徳」でなく「特別の教科 道徳」の学習がスタートしました。今までの道徳の時間でも大切にされてきましたが、特に「考える道徳」「議論する道徳」という言葉が強調されています。ある出来事について考える、ある人の行動や気持ちについて考える、他の人の考えと比べる事がより重要とされています。私は、毎年度初めに小鹿野小学校の教職員に、「朝や帰りの時間に時には先生でなく**一人の人としての考えや思いを押しつけるのではなく、子どもに話ってください。**」と頼んでいます。ひとりよがりではなく、他人の考えや気持ちを聞くということは、自分のしっかりとした考えをもつことに欠かせない事柄です。**心(気持ちや考え)は、人間としての大切な器**です。ぜひ、保護者の皆様のお力をお貸しください。

